

海外移住組合法案特別委員會議事速記録第三號

昭和二年三月十二日(土曜日)午前十時十分開會

○委員長(大島健一君) ソレデハ開會ヲ致シマス、此移民補助ノ豫算ノ説明ガ出來ル程度ニ進ンダカラ今日ハ其話ヲサセヤウト云フノデ、是ハ政府委員デヤアリマセヌガ社會局ノ書記官ノ川西君ガ出ラレテ話サレルト云フコトデ、其説明ヲ聽クコトニ致シマシテ、其後ニ於テ過日來、大體ノ質疑ハ終テ居ルヤウデアリマスカラ、逐條ニ付テ何カ御尋ノコトガアッタナラバソレヲヤリタイ、斯ウ思ウテ居リマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(大島健一君) ソレデハ皆サン揃ハレテカラ説明ヲ聽クコトニシマシテ、先キニ質問ヲシテモ宜シウゴザイマス、マダ柳澤伯ガ出ラレマセヌカラ豫算ノ説明ヲ後ニ廻シテ戴イテ、逐條ニ付テ御質疑ガアレバ質問ヲ願ヒマス

○黒岡帶刀君 私ハ一條ニ付テ質問イタシマスガ、一條ニハ「海外移住組合ハ組合員又ハ組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ海外移住ヲ助成スルヲ以テ目的トス」トアリマスカ、衆議院ノ速記録ヲ見マス「同一ノ家ニ在ル者」ト云フ中ニハ召使モ籠テ居ルト云フ風ニ見エテ居ルガ如何デセウカ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 衆議院デ右様ナ説明ヲ申上ダタコトハナイト私ハ思ッテ居リマス、此「同一ノ家ニ在ル」ト云フ家ト申スノハ民法上ノ家デアリマシテ俗ニ稱スル家ノ意味デハナイノデアリマス、從テ召使ノ如キ者ハ這入ラヌノデアリマス、同一ノ家籍内ニ在ル者ト云フ意味ニ御解釋ヲ

願ヒタイ

○委員長(大島健一君) 柳澤伯、オ出デデゴザイマセヌデシタガ、豫算ガ過日來質問ガアッタガ説明ヲスル程度ニナッテ居ラナカッタガ、今日ハ其程度ニ進ンデ居ルカラ其説明ヲサセテ宜シイ、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、社會局ノ書記官ノ川西君ガ政府委員デハナイケレドモ其説明ニ適當ナ方デアルカラ、ソレカラ説明サセテモ宜シイト云フコトデアリマスカラ、説明ヲシテ貰フテ置イタ方ガ宜カラウト思ッテ、アナタノオ出デヲ待テテ居リマシタ、今逐條ニ這入りカッテ居リマスガ、説明ヲ聽イタ方ガ川西君ノ外ノ方ニ對セラレル都合ガ好ウゴザイマセウカラ、説明ヲ聽クコトニ致シマス、中途デゴザイマスカソレデハ説明ヲ願ヒマス

○説明員(川西實三君) 御下命ニ依リマシテ私カラ説明ヲ申上ゲマス、唯今御話シ申上ダマシタ關係ノ豫算ハ、總額百八十万圓ニナッテ居リマシテ、其中ノ百七十万圓ガ國庫カラ土地購入並ニ之ニ關スル資金トシテ低利貸附ケルコトニシマシテ、アトノ十万圓ガ、其中ノ七十万圓ヲ海外移住組合聯合會ニ、三万圓ヲ海外移住組合ニ補助スル、斯ウ云フ風ナ立前ニナッテ居リマス、之ニ付キマシテ少シク詳シク説明イタシタイと思ヒマス、既ニ御承知ノ通りニ現今日本人ガ最も多く渡航シツツアリマスルノハ伯刺西爾デアリマシテ、現在伯刺西爾ニ在留イタシテ居リマスル在留民ノ總數ハ約五万ニ近イト云フコトハ豫テ御承知ノ通りデアリマス、所ガ其渡航者ノ殆ド全部ハ伯刺西爾珈

琲園ニ勞働ヲ致シテ居リマスル單純ナル勞働者トシテ渡航シタ者デゴザイマスルガ、近頃ニ於キマシテハソレ等單純ナル勞働者ノ外ニ相當ノ資本ヲ携ヘテ、渡航後直チニ獨立農ニナラウトスル所謂企業ノ移住ノ希望者ガ又少ナクナイノデアリマス、段々ソレガ増シテ來ツ、アルヤウナ狀況デアリマス、一體勞働移住者ハ申スマデモナク普通貧困者デアリマシテ、概シテ其教化ノ程度ガ低イ爲ニ動モスルト本邦人排斥ノ原因トナリ易イノミナラズ、其經濟的並ニ政治的基礎ガ極メテ薄弱ナル結果、長年月ニ亘テ折角苦心シテ築イタ移住者ノ地歩ハ、一朝ニシテ失ハレルト云フヤウナ危險ガアルノデゴザイマス、企業ノ移住者ハ是ト反對ニ概シテ中流ノ農家ニ屬シテ居リマシテ、比較的高イ教化ヲ持テ居リマス、又移住國ノ社會ニ同化シ得ル餘裕ヲ備ヘテ居リマス、是等ノ人ガ多クナリマスルト一般居留民ノ聲價ノ自然ニ高カラシメルト云フヤウナ原因ニナリマス、又勞働移住者ガ其勞銀ヲ蓄積イタシマシテ獨立農トナリマスルニハ、餘程調子ヨク行キマシテモ四五年ノ日數ガ要ル、所ガ初メカラ相當ノ餘裕ヲ以テ行ク人ハ此四五年ノ日數ヲ省クコトモ出來マス、又サウ云フ企業ノ移住者ハ土地ヲ直チニ獲得スルノデアリマスルカラ、此土地ヲ基礎トシマシタ確カナ地歩ヲ先方ニ於テ取得シマシテ、其結果經濟上ノ勢力ノミナラズ政治上ノ地位ヲモ獲得スル方法トナリ易イ、又更ニ進ンデハソレ等ノ人ガ參リマスト、其企業ノ種類ト方法ニ依リマシテハ、今マデノ委員會ニ於テ私ノ方ノ長官ガ

御説明ニナリマシタヤウニ、本邦工業ノ材料取得ニ非常ニ有利ナ事態ヲ醸スコトモ出來ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、彼此ノ理由ヲ考ヘマスト今後ハ單ニ勞働移民ノミナラズ、此種ノ企業ノ移住者ヲ獎勵スル必要ガアリマス、所ガ一方伯刺西爾ノ狀態ハ其富源ト云ヒ、其經濟狀態ト云ヒ、又其國ニアリマスル諸般ノ法律、政治上ノ規則ノ狀態等カラ申シマシテ、此種ノ企業ノ移住者ヲ迎ヘルノニ適シテ居リマスノデアリマスガ、併ナガラ一方サウ云フ希望ヲ持テテ居リマシテモ、希望ヲ持テテ居ル人ニ渡航地先ノ言葉トカ事情トカ云フモノニ通ジナイノミナラズ、又資金ガ必シモ十分ニ格カデナイ爲ニ希望者個々ノ獨力ヲ以テシマシテハ其希望ヲ達スルコトガムジカシイト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、サウ云フ場合ニ政府ガ此金融ヲ助成シテ、渡航者ニ對シテ出來ルダケ速ニ土地收得ノ機會ヲ與ヘルト云フコトハ現在ノ狀況ニ鑑ミテ極メテ必要ナコトデアル、ノミナラズ他方伯刺西爾ニ於キマシテ、勞働移住者トシテ嘗テ渡シタ人デ勤勉貯蓄シ、ソレニ依テ獨立農ニ變ラウト云フ者モ近年段々殖エテ參ル有様デアルノデ、所ガ是モサウ云フ人ガアリマシテモ獨力デ個々デヤッテ行クノニハ餘程ムジカシイ點ガアルノデアリマス、例ヘバ其ムジカシイ點ヲ申シマスルト、伯刺西爾ニ於キマシテハ面積モ非常ニ大キクアリマスルシ、又一方、亦通機關ガマダ十分デアリマセヌシ、同時ニ土地ニ關スル權利關係ガ非常ニ複雑デアリマシテ、餘程、其土地ノ權利關係ヲ能ク調べ、又地味ヲ吟

味シ、氣候ノ關係等ヲ能ク調ベテ、サウシ
テヤツテ行カケレバ動モスルト失敗スル
コトニナル、サウ云フ例モアルト云フコト
ヲ聞イテ居リマス、サウ云フコトヲ一人一
人ノ力デアル時ニハ、非常ナル、手續ノ上
ニ於テ非常ニ面倒デアル、何レモ志ハ懷イ
テ居リナガラ、サウ云フ困難ノ事情ニ遭遇
シテ獨立難ニ陥ルト云フヤウナ狀況デアル
ノデ、コンナ風ニシテ先方ニ居リマシテ折
角働イテ獨立農ニナリ得ルカヲ有チナガ
ラ、其希望ヲ達セシメズニ置クト云フコト
ハ、移住者ノ發展ヲ害スルコトデアリマ
ス、又其士氣ヲ阻喪シテ、イツ迄モ在留邦
人ノ基礎ヲ確實ニスルコトが出来ナイ、サ
ウ云フ譯デアリマスルカラ、一方内地ノ方
カラ參リマス所ノ企業ノ移民ノ獎勵ヲ先刻
申上ゲマシタヤウニスルト同時ニ、地方既
ニ先方ニ勞働移住者トシテ獨立シタイト云
フ人達ノ保護獎勵ヲ爲スヤウニスルト云フ
コトハ餘程必要ノコトデアラウ、斯ウ云フ
風ニ考ヘル譯デアリマシテ、其爲ニ此百七
十萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ、ソレカラ個
個別々ニヤル者ニ對シテ其困難ヲ排除スル
方法ヲ執ラウトスルノガ計畫ナシデゴザイマ
ス、百七十萬圓ハドウ云フ風ニ使用サレマ
スルカト申シマスルト、是ハ移住組合法
ノ御審議ヲ願フテ居リマス所ノ移住組合
法ノ制定ニ依リテ組織セラルベキ移住組合
ノ移住耕作地ノ設置ヲ助成スル爲ニ、ソレ
等ノ移住組合ノ中央團體ニナル所ノ移住組
合聯合會ニ原則トシテ貸付ケマス、何等カ
特殊ノ事情ガアレバ移住組合ニ貸ス場合モ
アリマセウガ、原則トシテ移住組合聯合會
ニ貸與ヘマシテ、サウシテ其移住組合聯合
會ニ於キマシテ總ツタ土地ヲ基金デ買ツテ、
各移住組合ノ希望其他ヲ斟酌イタシマシテ
其土地ヲ貸付ケル、斯ウ云フ風ノ段取りニ

ナルノデアリマス、現在ニ於キマシテ移住
組合類似ノ團體デ伯刺西爾ニ土地ヲ購入シ
テ、企業ノ移住者ノ農耕ヲ開始シテ居リマ
スルモノニ、是モ既ニ皆御承知ト思ヒマ
スルガ、信濃海外協會、鳥取縣ノ海外協會
及熊本縣ノ海外協會ガアリマシテ、尙ホ是
等ニ倣ハウトシテ現ニ計畫中ノモノニ富山
縣等ガアリ、又其他數個ノ府縣段々同様
ノ計畫ヲ進メテ行カウトスルモノヲ聞クノ
デアリマス、所ガ是等ノ諸團體ハ移住組合
法等ノ制定ガアリマセヌトキニ於キマシテ
ハ、現在ノ狀況ニ於キマシテハ已ムナク民
法上ノ契約團體ヲ組織シテ居ルノデアリマ
ス、是等ニ對シマシテ適當ナル法人格ヲ與
ヘテ、サウシテ先程申シマシタヤウナ助成
ヲスル爲ニ出來テ居リマスルノハ唯今御審
議ヲ願フテ居リマスル移住組合法案デアリ
マス、此聯合會ノ如キハ御審議ヲ願フテ居
リマスル法律ガ制定セラレルヤウニナリマ
スレバ、何レモ之ニ準ジテ法人ニナルデア
ラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ノ海
外協會乃至是カラ出來マスル海外移住組合
ガ個々ニ伯刺西爾ニ於テ移住耕作地ヲ設ケヤ
ウトスル場合ニハ、一團體ノ耕地ハ精々三
千町歩乃至五千町歩ト云フ位ニ過ギナイ今
マデノ實例デアアルノデアリマス、細カク申
シマスルト十町歩三、四十圓、三十七圓
カラ四十圓マデト見マシテ、代價ガ十萬
圓カラ十一萬圓、是位ガ大體今マデノ
移住組合ナリ、今後出來ヤウトスル協
會ノ實例ニ副ウト云フヤウナ有様デア
ル、所ガ斯ウ云フノガ五千町歩、三千町
歩ノ小サナ耕地ヲ點々トシテ方々ニ設ケル
時ニハ、其耕地ニ必要デアル學校トカ病院
トカ道路トカ云フヤウナ此公共ノ施設ヲ
一ト通リスルノニ餘程農工事業以外ニ多數
ノ費用ヲ要スルノデアリマス、ソレヲ一ト

通り揃ヘルコトニ努メマスルト經濟ガ困難
トナリ、組合ナリ協會ノ費用ガ多クナリ、
失敗ノ原因トナル譯デアリマス、農工者自
身ノ經濟上並ニ政治上ノ地步ノ確保ト云フ
ヤウナコトモ自然ムヅカシクナリマスルカ
ラ、最モ理想ノ二言ヘバ是等ノ海外協會ト
カ、今後移住組合ニナルベキ性質ノモノガ
少クトモ五六聯合イタシマシテ一箇所ニ
總ツタ耕地ヲ持ツテ、サウシテ適當ナル物質
的援助ノ下ニ一箇所約四五萬町歩ノ耕地ヲ
設ケテヤルト、斯ウ云フコトニナレバ一ト通
リノ公共的施設モ出來、經濟上ノ困難モ味
ハズシテ行クデアラウ、斯ウ云フ風ナ理由
ガアルノデアリマシテ、先程申シマシタ百
七十萬圓ハ約四、五萬町歩ノ土地ヲ出來ル
グケ纏メテ聯合會ガ買フヤウニスル、ソレ
ニ低利ノ資金トシテ融通スルノニ充テル計
畫ニナツテ居ルノデアリマス、序デニ申上ゲ
マスルガ伯刺西爾ニ於ケル小農一個ノ耕作
單位ハ普通二十五町歩デアリマシテ、各府
縣ノ移民團體トシテ最小限度五千町歩、即
チ家族ニ直シマスルト二百家族、一家族五
人平均ト致シマシテ、總數一千人位ヲ各府
縣ノ單位トシテ入籍シ、移植セシメ得ルヤ
ウナ規模ノ耕地ヲ設定スルコトガ必要デア
リマス、デ此二百家族ハ大體想像ヲ致シマ
スルト、一度ニ一年デ參ルト云フコトハム
ゾカシカラウ、大體先ヅ三箇年位ヲ以テ滿
員ニナルデアラウ、斯ウ云フ見當ヲ付ケテ
居リマス、從テ三年經テ、三年マデハ宜イ
ノデスガ、四年五年ト先ニナレバ、此一府
縣單位五千町歩、是カラ七八箇所ヲ纏メテ
四五萬町歩デ是デ永遠ニ満足出來ルト
云フ性質ノモノデナクシテ、又段々ト第二
段、第三段ト必要ニ應ジ、事情ニ適合スル
ヤウニ擴張シテ行クモノデアリマセウ、マ
ア差當リト致シマシテ、組合最小限度五千

町歩ノモノヲ七八府縣、希望ノ組合ガ出來
ルモノト見テ、サウシテ昭和二年度ノ豫算
トシテ百七十萬圓ガ計上サレ、ソレガマア
今後三年間ニ滿員ニナルデアラウ、斯ウ云
フノガ計算デアリマス、百七十萬圓ハ先刻
モチヨット申上ゲマシタガ、土地代ト、ソレ
カラ土地ヲ愈買フニ至リマスマデノ土地
ノ調査費等モ含シテ居リマスルシ、又土地
ヲ買ヒマシタ後ニ色々地區ノ區劃ヲシタ
リ、測量シタリスルヤウナ費用モ見込シテ
居リマス、又登記料等モ見込シテ居リマシ
テ、是ガ百七十萬圓ニ大體ナル、斯ウ云フ
見當デアリマス、之ヲ聯合會ガ百七十萬圓
ノ金ヲ借りテ土地ヲ買ツテ、サウシテ組合ノ
希望ニ應ジテ各組合ニ分割譲渡スルノデア
リマスルガ、其貸付ノ條件ノ大體ヲ申上ゲ
マスレバ、聯合會ニ對スル貸付ハ三箇年ノ
据置デ、据置期間中ハ無利子デ、サウシテ
三箇年ノ年賦償還、利子ハ年三步、斯ウ云
フヤウナ大體條件ニシタイト思フテ居ルノ
デス、ソレカラ聯合會ハ各組合ニ分割譲渡
シマシタ耕地ノ代金ヲ、年利五歩デ三箇年
据置デ三箇年賦デ各組合ヨリ取立テルト云
フ仕組ミデアリマス、組合ハ又各組合員カ
ラ取立テル、無論此聯合會ヨリ各組合ニ對
スル土地ノ分割方針トカ、或ハ伯刺西爾ニ
於キマスル本邦人ノ團體ニ對スル土地轉賣
ノ條件トカ方針トカ云フモノハ、政府ガ監
督上十分ナ考慮ヲシテソレト具體的ニ指
令ヲ發シ、其指令ニ從ハシメルト云フ計畫
デアリマス、聯合會ガ各組合カラ得ル所ノ
土地代金ノ利子ト、ソレカラ聯合會ガ政府
ニ支拂フ助成貸付金ノ利子トノ間ニハ、先
程申シマシタ通り三步ト五歩ノ開キガア
リ、又聯合會ニ對シテハ三箇年間無利子ト
云フヤウナコトニナツテ居リマスルノデ、關係
上或種ノ利鞘ガ聯合會ニ對シテ這入ル譯デ

アリマスルガ、ソレ等ハ政府ノ指令ニ從ヒマシテ一部分ヲ移民ノ臨時金融、或ハ諸般ノ公益施設、又耕地ノ擴張等ニ運用セシメル、斯ウ云フヤウナ立前ニナッテ居リマス、ソレカラソレハ百七十萬圓ノ大體ノ説明デゴザイマスガ、アトノ十萬圓ノ中ノ七萬圓ハ聯合會ノ事務費ニ對スル補助ト見込シテ居リマス、組合ナリ聯合會ノ本部ガ内地ニ在リマシテ、實際ノ仕事ヲ外國ニ於テスルコトデアリマスカラ、色々ナ費用ガ事務費トシテ要ルノデアリマス、或ハ人ガ先方ニ出張スル場合ニ駐在スル必要モアリマス、ソレカラ多額ノ費用ガ必要デアリマスカラ、中央ノ聯合會ニ對シテ七萬圓、ソレカラ地方ノ各組合ニ對シマシテモ、同様にナ費用ガ要リマセウカラ、其一部分ノ補助トシテ三萬圓、斯ウ云フ風ニ見積リテ立テタ譯デアリマシテ、只今マデ申上ゲマシタノハ伯刺西爾ノ狀況ヲ標準トシ、又伯刺西爾ガ之ニ對シテ最も適當シテ居ル國デアラウト云フコトカラ出タ數字デアリマス、尙ホ色々伯刺西爾ノ事情等ニ付キマシテハ私ハ一向存ジマセヌノデ、茲ニ幸ヒ外務省ノ方モ居ラレマスカラ、私ノ御説明デ足リマセヌ所ハ、其方ノ方カラ御説明ヲ願フコトニ致シマシテ、一應百七十萬圓ノ内容ヲ御説明申上ゲタノデアリマス

○委員長(大島健一君) 大概是デ御分リニナッテラウト思ヒマスガ、多少御質問デモアレバ、此方ヲ御質問願ヒマシテ、ソレカラ逐條ニ移リタイト思ヒマス

○鎌田榮吉君 公共施設……學校トカ病院トカ云フモノニ對シテ、細カイ區域ニ涉ッテヤルコトハ非常ニ費用ヲ要スルカラソレデ……チヨット私聽キ漏シタノデ……

○説明員(川西實三君) ソレデ四五萬町歩ノ土地ヲ一ト所ニ買ヒマス、別ノ言葉デ申

シマスルト、七八府縣ガ同ジ場所ニ移住地ヲ經營シテ居リマス、サウ云フ場合ニ學校トカ病院トカ云フノヲ經營シテ行クノニ爲シ易カラウト、斯ウ云フノデゴザイマス、ソレハ組合自身ガ直接經營スル場合モアリマセウ、又聯合會ガ利鞘等ノ餘裕ヲ以テ組合ニ補助スルナリ、或ハ聯合會自身ガ經營スルナリ、ソコハマダ具體的ニ、ドレガ直接、スルカト云フ點マデハ……其事情ニ應ジナケレバナラヌト思ヒマス

○鎌田榮吉君 詰リ出來ルダケ大キク區域ヲ取ル……經營ヲ大キクシヤウト云フノデスネ

○説明員(川西實三君) 左様デゴザイマス、五千町歩ノヤウナ範圍デアル時ニハムヅカシイカラ、五萬町歩位ニシタラ經營ガ樂デアラウ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマス

○黑岡帶刀君 簡單ニ伺ヒタイノデスガ、此信濃協會ト云フ所カラ、斯ウ云フ書類ヲ全體ニ配付シテアリマスガ、ソレヲ見マスルト内務省カラ六百圓ト云フ補助ガアリマスガ、是ハドウ云フノデアリマス

○説明員(川西實三君) 只今マデゴザイマス各治外協會ニ對スル四百圓ナリ、六百圓ナリト云フ風ナ補助ノコトデゴザイマスカ

若干ノ補助ヲ致シテ居リマス、只今御指摘ノ六百圓ト云フノモ恐ラクハ其事ヲ書イテ居ルノデアラウト想像イタシテ居リマス

○男爵稻田昌植君 只今ノ御説明デ一言伺ヒテ見タイト思ヒマス、ソレハ御説明中ニ百七十萬圓ノ資金ヲ三ヶ年据置デ、三ヶ年賦デ償還セシムルト云フ御話ガアッタノデアリマスガ、土地購入資金ト云フヤウナ農業信用ノ立前ハ低利、長期、不通知のト云フノガ三大原則ノヤウニ思ヒマスノデアリマスガ、三ヶ年賦ニ償還セシムルト云フコトハ此原則ニ反シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、又サウ云フコトガ實際出來ヤウカト私ハ思ヒマスノデ、出來ナイノデナイカト思ヒマスガ、三ヶ年間デ償還セシムルト云フ御見込ガアルノデゴザイマセウカ、ソレヲ伺ヒマス

○説明員(石射猪太郎君) 伯刺西爾方面ノ例ヲ申シマス、伯刺西爾ニ行キマシテ、日本人ナリ外國人ナリ土地ヲ買フ場合ニハ普通二年賦乃至三年賦償還ト云フノガ最も普通デゴザイマス、實際ハ金ヲ借りテ、伯刺西爾ニ於テ金ヲ借りテ買フト云フコトニナリマスレバ非常ニ高イ利子ヲ拂ハナケレバナラス、併ナガラソレデ以テ高イ利子ヲ拂ッテ二年賦デヤッテ参リマシテモ、普通作物ニサハ凶作ガ無ケレバヤッテ行ケル狀態デゴザイマス、餘リ長期貸付ニ相成リマスルト云フト行ク人ミノ方デモ油斷ガ出タリ致シマシテ、結果ガ餘リ面白クナイト云フ實例モゴザイマスノデ、先ヅ三年間無利子デ据置キマシテ、三ヶ年据置キマシテ、サウシテ三年、アト三年賦ト云フコトニシタラ、モウ條件ハ可ナリ寛大デアラウ、而シテ餘リ寛大ニナリ過ギルト云フ虞レモナカラウ、斯ウ云フ考ナノデアリマス

イマセヌカラ、元ニ戻リマシテ逐條ノ質問ニ移リマス、第二條……第二條ガ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ第三條……是モ御質疑ガゴザイマセヌケレバ第四、第五ノ此ノ二條……御質疑ガゴザイマセヌケレバ第六條……別ニ御質疑ガ無イヤウデスガ、次ノ第七第八條ニ移リマス……御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ九、十、十一條……是モ御質疑ガゴザイマセヌケレバ十二條以下終リマデ……御質疑ガ無イヤウデゴザイマスガ、此審查ニ對シマシテ、御意見ガゴザイマスレバ御述ベヲ願ヒタイト思ヒマス……御意見ガ無ケレバ是デ決定シタイト思ヒマスガ……

○伯刺西爾澤保惠君 私ハ此前ノ時ニ大臣ノ出席ヲ要求シテ置キマシタガ、少クトモ其三人ノ内、一人、私ハ外務大臣ノ御出席ヲ願ヒタイノデアリマス

○委員長(大島健一君) サウ云フコトハ聞イテ居リマシタガ、私ハ斯ウ考ヘタノデアリマス、是非御出デヲ願ハナケレバ、出テ貰ハナケレバナラヌト云フヤウナコトデハナイト私ハ見テ居リマスノデ、何カ斯ウ云フコトヲ大臣ニ聽キタイト云フコトデモアレバ別デスガ、何等、大臣ガ出ラレヤウガ、政府委員ガ出ラレヤウガ、私ハソナコトハ同ジヤウニ思ヒマス、何カ御質問デモアルノデアリマセウカ

○伯刺西爾澤保惠君 イヤ、私ハサウデハナイノデアリマス、兎ニ角、三人大臣ガ署名サレテ居ラレマスカラ、此議案ノ權威ノ爲ニ一人グラキ出ラレルト云フノガ當然カト思ッテ御請求申上ゲタノデアリマス、委員長ガ御請求ナケレバ抗議ハ申シマセヌ

○委員長(大島健一君) 大臣ガ來タカラテ權威トハ見テ居ラス、私ハ見テ居ラスノデアリマス、政府委員ガ出テ居リマス

○伯爵柳澤保惠君 ソレハ御採否ハ委員長ニ任セテアルノデアリマスカラ、必要ナシト認メラルレバ致シ方ガナイ……

○委員長(大島健一君) 私ハ質問ガナイトスレバ顔ヲ出シテ貰フテモ何ニモナラヌト思フ

○伯爵柳澤保惠君 私ハ顔ヲ御出シニナレバ質問ガアルノデス

○委員長(大島健一君) サウ云フコトナラバ顔ヲ出サセマセウ

○黒岡帶刀君 少シ私ハ是マデノ質問ニ對シテ疑惑ガ起タノデアリマスガ、伯刺西爾デ生レタ者ハ伯刺西爾ノ人間ニナルト云フコトガ衆議院ノ速記録デ井上トカ云フ番外ノ委員ノ人ガ説明シテ居ルノデアリマスガ、伯刺西爾デ生レタ者ヲ領事館ニ届出レバ宜イガ……領事館ニ届出デナケレバ伯刺西爾ノ人間ニナルノデアリマスカ

○説明員(石射猪太郎君) 伯刺西爾ノ國籍法カラ參リマスルト云フト、伯刺西爾ニ生レタ者ハ當然伯刺西爾人ト云フコトニナッテ居リマス、之ヲ日本ノ方カラ見マスと云フト一昨昨年ノ國籍法ノ改正ニ依リマシテ、出生後十四日間内ニ領事館ニ届出デナケレバ日本ノ國籍ヲ取得シナイト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ伯刺西爾ニ於テ生レタ日本人ノ子供ハ親ガ十四日間内ニ領事館ニ届出デナケレバ國籍ヲ留保スル、日本ノ國籍ヲ留保スルト云フ意思ヲ表明イタシマセヌケレバ伯刺西爾ダケノ國籍ヲ持ト云フコトニナリマス

○伯爵柳澤保惠君 先日、私ハ質問ヲ致シマシタ時ニ、外務政務次官ハハッキリ御答ガ無カタノデアリマス、ソレハ何デアアルカト申シマス、移民輸送ノコトデス、今日ハ移民ノ取扱ニ關シマスル會社ハゴザイ

マスガ、ソレガ一手デ海外移民ノ取扱ヲヤツテ居ル、私ガ伺フコトハ、將來矢張り人口調節ノ必要上、海外移住ヲ助成イタサレル以上ハ、段々ト遠ニ行ク人モ殖エマセウト思ヒマス、左様ナ場合ヲ豫想シテ當局者、政府ニ、於カレテ運送ノ仕事ヲ直轄シテヤル、即チ航海ノ船ヲ「チャーター」シテ移民ヲ送ルコトヲ考ヘテ居ラレルカ、又ソレニ關スル取扱ヲ總テ政府デヤラレルト云フコトノ御考ガ有ルヤ否ヤヲ伺フタ、時ニ、矢吹君ハ其邊ハ未ダ考ヘテ居ラヌト云フコトデアリマシテ、私ハ此法案ヲ重ク視テ居リマス、重ク視テ居リマスカラ大臣カラ篤ト伺ヒタイト思ヒマス、矢張り矢吹君ト御同様ニ未ダ政府ガ直接移民ノ世話ヲセラル、コトニ付テ御考ガ無いノデアリマスカ、或ハ御考慮中デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思フテ御出席ヲ願フタノデアリマス

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 移民輸送ノコトニ付キマシテハ特ニ政府ノ方デ船ヲ「チャーター」致シテ移民ヲ運送スル、サウ云フコトハ唯今考ヘテ居リマセヌケレドモ、從來ノ通り、郵船會社、商船會社ト云フヤウナ船會社ト特別ノ約束ヲ致シマシテ、其移民ヲ送りマス船ニ對シテハ、移民ノ爲ニ必要ナル設備ヲ調ヘ、運賃ヲ出來ルダケ割引ヲ致サセ、移民ヲシテ愉快ニ新移住地ニ行クコトヲ得ルコトニ既設會社ト約束スルト云フ流儀デヤツテ居ルノデアリマス、政府ガ船ヲ借上ゲテ「チャーター」致シテ、ソレデ移民ヲ送ルト云フコトハ唯今考ヘテ居ラナイ

○伯爵柳澤保惠君 私ハ聯關シテチヨット伺ヒタイ、北米合衆國ヘハ御承知ノ通り、毎年人數ヲ限リテ歐羅巴方面カラ移民ヲ取ル、日本ノ方ハ今日ハ殆ド絕對ニ出ラヌヤウニナッテ居リマスガ、或ハ歐羅巴各國通

リ數ヲ制限シテ毎年合衆國ヘ這入リ得ル如クニ、本邦人ヲ北米ニ移住セシメルノ御考慮ハ無いノデスカ、ソレハ御斷念デアリマスカ

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) ソレハ例ノ千九百二十四年ノ米國ノ新移民法ニ依リマシテ、歸化權ヲ有セザル人民ハ人民ノ屬スル國カラシテハ原則トシテ一切移民ノ入國ヲ許サナイト云フ簡條ガアルノデアリマス、歸化權ヲ有シマス國ノ人民ノ屬スル國ニ付キマシテハ、特別ニ毎年一定ノ割合ヲ與ヘマシテ、其割合ノ範圍内ニ於テ入國ヲ許ス、併シ歸化權ヲ有セザル人民ノ屬スル國カラシテハ何等ノ割合ヲ與ヘテ居ラヌノデアリマス、是ガ所謂差別待遇ト云フコトニナルノデ、其當時政府ヨリ抗議ヲ致シ、今日ト雖モ抗議ヲ持續イタシテ居ル次第ナノデアリマス、此法律ガアリマス以上ハ原則トシテハ日本ヨリ一切移民ヲ亞米利加ニ對シテハ送ルコトガ出來ヌト云フコトニナッテ居ルノデアリマス

○伯爵柳澤保惠君 此法律ハ多分今度通過イタシマシテ、豫算モ通ルト思ヒマスガ、將來、矢張り之ニ類似ノ方法ヲ以テ海外移住助成ヲ相當サルト云フ御考ガゴザイマスガ、當分先ヅ是ダケニシテ……伯刺西爾ダケニシテ置カウ、外ノ方ノ方面ニ向シテモ或方法デ以テ金ヲ出スト云フコトハ段々ト御實行ニナル譯デスカ、先ヅ暫時是デ止メテ置クト云フ譯デスカ

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 此法律ハ御承知ノ通り、必シモ伯刺西爾トカ南米トカ云フコトニ指定ヲ致シテアル譯デヤナイノデアリマシテ、ドノ國ニ對シマシテ移住ヲ致シマシテモ、此法律ノ適用デ行ケルコトニ相成ルノデアリマスガ、政府ヨリ何等、金融……金ノ融通ヲ致スト云フ問題ニ付キ

マシテハ、今回追加豫算デ以テ昭和二年度ノ追加豫算デ若干ノ金額ヲ請求イタスコトニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、金額ノ方ハ移住組合ノ事業ノ成績ニ應ジテ或ハ更ニ追加イタスト云フコトハ起リ得ルコトデアラウト思フノデアリマス、併シ此法律其モノハ別ニ動カス必要ガナイト思フ、此上、更ニ擴張イタスト云フ必要ハナカラウト思フノデアリマス、擴張イタスト云フ必要ガアルト云フナラバ、詰リ豫算、金ノ融通ト云フ點ダケデアアラウト思フノデアリマス

○伯爵柳澤保惠君 併シ是ハ矢張り政府委員ノ御説明ヲ伺フト、大體、伯刺西爾ガ主デアルヤウニ伺フタ、無論、此法律面デハ國ハ指定シテゴザイマセヌヤウデスケレドモ、先ヅ伯刺西爾……南米ガ主デアアラウト思ヒマス、ソレデ伺フタノデアリマスガ、或ハ東洋方面其他ニ向フテモ、無論、是デ參ルト云フコトニモナリマス、ソレニシテハ金ガ少ウゴザイマスカラシテ、或ハ他ノ方法デ移住助成ノ擴張ノ方針ガアルカドウカ伺ヒマシタガ、能ク分リマシタ、後ハ意見ニナリマスカラ

○黒岡帶刀君 討論ニ移ッテハ如何デスカ

○委員長(大島健一君) 別ニ御質疑ガ無ケレバ……

○黒岡帶刀君 私ハ贊成ノ意見ヲ發表イタシタイト考ヘマス、其理由トスル所ハ多少申上ゲテ置キタイト思ヒマス、參考ノ爲ニ、全體、日本ガ今後レ馳セニ海外ニ殖民地ヲ得ルコトガ出來マセヌ故ニ、外國ノ獨立國ノ所ニ移民ヲ送ッテ困難ヲ致シテ居リマスガ、先達モ申上ゲタ通りニ、獨逸ハ千八百八十一年カラ四年マデニ六十萬ノ移民ガ亞米利加ニ出タノデ驚イテシマッテ、千八百八十三年ニ成ルタケソノ外國ニ移民ヲヤラヌヤウニシテ殖民地ニ入レルト云フ方法手

段ヲ執ツタ、日本ハ致シ方ガナク、マア亞米利加ヘデモ送ラナケレバナラストカ、又伯刺西爾ヘデモ送ラナケレバナラストカ、又波蘭人種ノ居ル所デアッテ、其方面ニ獨逸人ノ移民ヲ獎勵シテ居ルト云フヤウナコトデアアル、昨日御廻シニナッタ移民獎勵法ト云フモノガアリマスルガ、朝鮮邊リニ内地人ヲモウ少し殖ヤシテ内地移民ヲ扶殖スルト云フヤウナコトノ獎勵ハ却テ宜クハナイカト私ハ考ヘテ居ル、ソレハ決シテ此伯刺西爾ノ移民ニ反對スル譯デハナイケレドモガ、日本ニ於テハソレダケノ利益ガ將來ニ無カラウト私ハ考ヘテ居ル、ソレデ日本ハ即チ人口問題ト糧食問題ヲ解決スルニハ海軍ガ必要デアルト云フコトハ此「ブラセイ」氏ノ本ニ非常ニ書イテアル、日本ノ海軍ノ重要ナノハ、ソレハ何カト云フト、糧食ノ爲ダ、ト云フコトガ書イテアル、ソレカラ又石油ヤ何カガ日本ニ無イカラ海外ニソレヲ求メナケレバナラストカ、海外貿易ヲヤル、決シテ侵略主義デハナイ、貿易ノ爲ニ海軍ヲヤルト云フコトガ數頁書イテアル、糧食問題ノ爲ニ日本ノ海軍ハ必要ダ、日本ニハ糧食ガ足ラヌカラ生存ガ出來ヌ、ソレデアルカラ海軍ガ必要デアアル、戰時、平時ヲ問ハズ、海外カラ糧食ヲ持ッテ來ル爲ニ必要ダト云フコトガ數頁ニ互ッテ書イテアル、今日、補助艦ノ制限ナドガアルガ、ドウナルカ知レヌケレドモ海外カラノ糧食、交通ガ危險ニナッテ將來餓死スルヤウナコトガ出來テ來ルカモ知レナイガソコデ、糧食問題ノ解決ノ爲ニ私ハマダ外ニ色ニナ方法ガアリハセヌカト考ヘテ居ルガ、ソナコトハ今問題ニナラナイ、サウ云フコトガ「ブラセイ」氏ノ本ニ數頁書イテアル、ソコデ是ハ別ニ日本ノ利益ニナルカラト云フ方法手段デアラウ、日本ノ八十萬圓内外ノ人口ガ殖エルノハ五萬人六萬人位ノ日本人ガ

ルト云フコトニナリハシナイカト私ハ考ヘテ居ル、獨逸ナドモ「ボーゼン」ト云フ所ハ波蘭人種ノ居ル所デアッテ、其方面ニ獨逸人ノ移民ヲ獎勵シテ居ルト云フヤウナコトデアアル、昨日御廻シニナッタ移民獎勵法ト云フモノガアリマスルガ、朝鮮邊リニ内地人ヲモウ少し殖ヤシテ内地移民ヲ扶殖スルト云フヤウナコトノ獎勵ハ却テ宜クハナイカト私ハ考ヘテ居ル、ソレハ決シテ此伯刺西爾ノ移民ニ反對スル譯デハナイケレドモガ、日本ニ於テハソレダケノ利益ガ將來ニ無カラウト私ハ考ヘテ居ル、ソレデ日本ハ即チ人口問題ト糧食問題ヲ解決スルニハ海軍ガ必要デアルト云フコトハ此「ブラセイ」氏ノ本ニ非常ニ書イテアル、日本ノ海軍ノ重要ナノハ、ソレハ何カト云フト、糧食ノ爲ダ、ト云フコトガ書イテアル、ソレカラ又石油ヤ何カガ日本ニ無イカラ海外ニソレヲ求メナケレバナラストカ、海外貿易ヲヤル、決シテ侵略主義デハナイ、貿易ノ爲ニ海軍ヲヤルト云フコトガ數頁書イテアル、糧食問題ノ爲ニ日本ノ海軍ハ必要ダ、日本ニハ糧食ガ足ラヌカラ生存ガ出來ヌ、ソレデアルカラ海軍ガ必要デアアル、戰時、平時ヲ問ハズ、海外カラ糧食ヲ持ッテ來ル爲ニ必要ダト云フコトガ數頁ニ互ッテ書イテアル、今日、補助艦ノ制限ナドガアルガ、ドウナルカ知レヌケレドモ海外カラノ糧食、交通ガ危險ニナッテ將來餓死スルヤウナコトガ出來テ來ルカモ知レナイガソコデ、糧食問題ノ解決ノ爲ニ私ハマダ外ニ色ニナ方法ガアリハセヌカト考ヘテ居ルガ、ソナコトハ今問題ニナラナイ、サウ云フコトガ「ブラセイ」氏ノ本ニ數頁書イテアル、ソコデ是ハ別ニ日本ノ利益ニナルカラト云フ方法手段デアラウ、日本ノ八十萬圓内外ノ人口ガ殖エルノハ五萬人六萬人位ノ日本人ガ

伯刺西爾ニ行ツタ所ガ、彼方デ米デモ作ッテ送ルト云フヤウナコトハ私ハ出來ナイト考ヘテ居リマスルガ、又人モソレダケ減ル譯デナイカラ、其問題ニ關係セズシテナラバ是ハ一ツノ方法トシテ斯ウニ云フ手段モアッテ宜カラウト云フ所デ賛成スルノデアアル
○伯爵柳澤保惠君 簡單ニ私モ意見ヲ申上ダマス、賛成デアリマス、賛成デアリマスコトハ、雙手ヲ舉ゲテ賛成スル程ノ賛成者デモナイ、然シ勿論反對デアリマセヌ、ソレニ私ハ理由ガアリマス、是ハ無論人口調節ニ當ル一手段デアリマス、私ハ無論海外移住モ結構デアリマスガ、海外移住デモモウ少し日本ニ近イ所ノ移住ヲ先ヅ主張スル、モウ一步進シデハ日本内地ノ移住ヲ先ニ考ヘテ居ル、先ヅ北海道ノ方デ考ヘテ居リマスシ、次ニ西比利亞、朝鮮、滿洲ノ方ヲ考ヘテ居ル、最後ニ遠方ノ方ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此案ハ勿論遠方バカリデハナイ、近イ所モアリマセウガ、主トシテ南米ノコトヲ何ッタノデアリマスカラ、ソレデ遠方ト申上ゲルノデアリマス、私ハモウ少し近イ方ノ部分ニ向ッテ移住助成ノ方法ハアリハシナイカ、豫算委員會デ質問シタハ絕對ニ賛成イタシマセヌ、北海道ノ設備ガ十分出來テモ、北海道長官ニ聽クト、二百万人足ラヌ人口シカ這入ラヌト云フ、是モ一ツノ方法デアリマセウガ、私ハ先ヅ北海道ノ方ハソナナ費用ヲカケズニ別ニ、千万人位ハ這入ルト考ヘテ居ルノデアアルカラ、私ノ議論トシテハ先ヅ北海道ノ方ニ大多數ノ移住ヲ助成スル、次ニ日本ノ近イ國ニ考ヲ持チ、ソレカラ南米、斯ウニ云フ順序デ考ヘテ居リマスカラ、賛成デアリマスケレドモ絕對ニ此外ノ手段ガナイトハ考ヘテ居ラナイカラ、ソレダケノコトハ一應御斷

リヲ申シテ置キマス、豫算委員會デモ意見ヲ申述ベヤウト思ヒマスカラ之ヲ略シマスコトハ、詰リ此案ハ宜シイコトデアリマスケレドモ、今日之ヲ最先キニシナケレバナラスト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ラヌ、併シ是ハ決シテ無益デナイト云フ意味カラ賛成スル、アトノ多少ノ議論ハ豫算委員會デ申述ベマスカラ此場合ハ略シマス
○委員長(大島健一君) 他ニ意見ハゴザイマスマイカ
○男爵稻田昌植君 私モ一言申上ゲテ置キマス、此案ニ付テハ私勿論賛成デアリマスコトハ、唯今柳澤伯爵ノ申サレタ通り、私モ大體、伯爵ノ御意見ト同様デ、先日モ農林省ノ政府委員ガ特ニ出席サレマシタ時ニ申上ゲテ置キマシタ通り、是ハ海外移住ノコトヲヤル、アトハ人口ノ移動ヲ目的トスルモノハ、内地間ノ移住ト更ニ内地カラ植民地ヘ行キマスコトニツアリマスノデ、是ハ海外移住ノミヲ御取扱ヒニナル法案デアリマス、此案其モノニハ何等異議ハ私ハナイ、大賛成デアリマスガ、之ニ付テ更ニ内地間ノ移住及植民地ヘノ移住ヲ更ニヨリ有效ニスル必要ガ十分アラウト思ヒマス、ソレデ外務省デ此案ヲ御出シニナリ、豫算ハ内務省ノ方デ御取扱ヒニナルヤウデアリマスガ、何レ近イ將來ニ此内地間及植民地ヘノ移住及植民ノコトニ付テハ閣議ナドニモ十分議ニ上ルコトガアラウト思ヒマス、此案ニ御關係ニナル外務省及内務省ノ方ニハサウ云フ點ニ於テモ更ニ此案ヲ御出シニナリマシタ關係上、サウ云フコトニモ十分御努力ニナル義務モオアリニナルコトト思ヒマス、其點特ニ希望ヲ申上ゲ私此案ニ付テハ賛成イタシマス
○委員長(大島健一君) 外ニ御意見ハゴザイマセヌカ、私ハ委員長ト致シマシテ一言

大臣ニ：將來ノ主務大臣トナラレル大臣
ガ居リマスカラ一言申シテ置キマスガ、此
委員會デハ過日來、稻田男爵其他ノ御心配、
御注意ニナツタノハ、此外國ニ對スル移住
法案ニ於テハ無論異存ハナイノデアルガ、
内地ニハ北海道其他未開拓ノ土地モアル、
是等ニ向テ開拓移民ノコト、コノ外ノ移住
ト相對シテ内ノ方モ努メテ貫ヒタイト云フ
ヤウナ意見モアリマシタガ、北海道ハ今回
第二ノ拓殖計畫、又開墾補助法ト云ヒマス
カ、多少ア、云フヤウナモノモアル、朝鮮
ノ拓殖會社其他是等ノ拓殖移民ヲ補助スル
機關モアルヤウデアリマス、先程、柳澤伯
カラ成ルタケ近イ所ニ植民シタイト云フ意
見ニ關係シマシテモ、滿洲ノ商租ノ問題、
是ニハ隨分ムヅカシイ事情モアリマスケレ
ドモ、ト云フガ如キ總テノ點ニ向テ内地
ノ拓殖並ニ植民地ノ移住ト云フコト、是ハ
申ス迄モナイコトデアリマスケレドモ、此
法案トモ内外相應ジテ人口食糧問題ノ解決
ヲ告グルヤウニナリタイト云フコトガ此委
員會ノ希望デアッタヤウニ私ハ見受ケマシ
テ、私ハ委員ノ一人トシテ、サウ云フ風ナ
意見ヲ有テ居リマス、ソレカラチヨット鍋
島君カラ御注意ガアッタヤウデアリマスガ、
會社ノ組織カラ云フト、公益ヲ主トシテ、利
殖トカ云フヤウナコトハ、無論考ヘルコト
モ手段デアリマスケレドモ、兎角例ノ移民
デナクシテ、此資金ヲ出シテ組合員トナル
者、其他ノ此法案デ見ルト此移民ニ經驗ヲ
有テ居ルトカ移民上必要ノアルト云フヤ
ウナ人ヲ組合ニハレル、殊ニ唯今承ルト新
二百八十万圓低利資金ヲ聯合會ヘ貸ス、サ
ウシテ是等ノ運轉ト云フヤウナコトガ起
テ來マス、色々其間ニ公益ト云フコトカ
ラ離レテ利殖スルト云フヤウナコトニ向
テ虞レガアリマス、ソレハ監督官、殊ニ主務

大臣ニ於テ御注意アルコト、信ジテ居リマ
ス、殊ニ目下問題トナツテ居ル伯刺西爾ノ
「サンパウロ」州ノ耕作地ノ如キハ、マダ鐵
道ノ及バヌ所ガ非常ニ其耕作地ニアルヤウ
デアツテ、ソレガ爲ニ其地ニ到ル此道路ノ設
備トカ云フヤウナコトハ隨分困難ナコトガ
多カラウト思ヒマスガ、唯今、此低利資金
ヲ貸渡スコトニ付テノ御説明ヲ伺ツテ、是等
カラ段々カタマッタ土地ニ持テ來ルト云フ
爲ニ道路教育銀行病院其他ノ設備ヲ十分助
ケ得ラル、コトデアラウト思ヒマス、總テ
公益ヲ主トシテ、ソレ等ノ事ガ行ハレルデ
アラウト云フ考ヲ持ツノデアリマス、私ハ
サウ云フ考ヲ以テ此法案ハ誠ニ時勢ニ適シ
タル法案トシテ賛成ヲシタイト思ヒマ
ス：：：外ニ御異存ゴザイマセヌケレバ此審
議ハ可決ト致シテ宜シウゴザイマスガ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(大島健一君) ソレデハ此審議ハ
可決シマシタ、散會イタシマス

午前十一時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 大島 健一君
副委員長 子爵秋元 春朝君
委員 子爵柳澤 保惠君
子爵酒井 忠亮君
黑岡 帶刀君
男爵稻田 昌植君
鍋島桂次郎君
鎌田 榮吉君

國務大臣

外務大臣 男爵幣原喜重郎君

政府委員

外務政務次官 男爵矢吹 省三君
社會局長官 長岡隆一郎君

説明員

外務書記官 石射猪太郎君
內務書記官 川西 實三君

貴族院海外移住組合法案特別委員會
議事速記第一號正誤

頁段 行 誤 正
三二一五 八十年 八十四年